

参考文献

- 気象庁, 1989: 異常気象レポート '89, 182-190.
- 小畑 実, 1984: 高層気象台(館野)における日射観測の結果について, 高層気象台彙報, 44, 37-43.
- Rao, C.R.N., and W.A. Bradley, 1983: Effects of the El Chichon volcanic dust cloud on insolation measurements at Corvallis, Oregon (U.S.A.), Geophys. Res. Lett., 10, 389-391.
- Russell, P.B., W. Viezee, R.D. Hake Jr., and R. T.H. Collis, 1976: Lider observation of the stratospheric aerosol: California, October 1972 to March, 1974, Quart. J.R. Met. Soc., 102, 675-695.
- 山内豊太郎, 志村英洋, 1984: エルチチョン噴火と大気混濁度の変動, 天気, 31, 533-544.
- Uchino, O., I. Tabata, K. Kai, and I. Akita, 1988: Five-year lider observational results and effects of El Chichon particles on Umkehr Ozone data, J. Meteor. Soc. Japan, 66, 635-643.

第27回自然災害科学総合シンポジウムのお知らせ

期 日: 平成2年10月30日(火)

場 所: 熊本郵便貯金会館(メルパルク KUMAMOTO)

テーマ:

1. 計画研究成果報告 6題

- (1) 集中豪雨のメカニズムと予測に関する研究
浅井富雄(東大海洋研)
- (2) 豪雨による土砂崩壊の予測に関する研究
道上正規(鳥取大工)
- (3) 土石流の発生及び規模の予測に関する研究
片岡 順(名大農)
- (4) 強震動および津波の予測と破壊能評価に関する研究
平沢朋郎(東北大理)
- (5) 都市供給施設における震害の防止・軽減並びに復旧対策に関する研究
佐武正雄(東北大工)
- (6) 都市住空間の震災予測と耐震化システムに関する研究
柴田明德(東北大工)

2. 突発災害調査報告 3題

- (1) 伊豆半島東方沖の群発地震と海底噴火の研究
茂木清夫(東大地震研)
- (2) 越前海岸山崩れとその災害に関する調査研究
三浦 静(福井大)
- (3) 1989年ロマブリータ地震によるサンフランシスコ湾岸地域の被害に関する調査研究
亀田弘行(京大防災研)

3. ワーキンググループ成果報告 6題

- (1) 3次元数値モデルによる豪雨の予報システムのための検討
吉崎正憲(東大海洋研)
- (2) 自然災害教育に関するビデオテープ記録の活用とその効果
矢入憲二(岐阜大教養)
- (3) やませ時の冷害の原因となる下層雲の発生機構とその発現予測の可能性に関する研究
児玉安正(弘前大理)
- (4) 地上及び衛星リモートセンサーを用いた豪雪の検出・予測方法の検討
上田 博(北大理)
- (5) 西南日本における初生的大規模斜面変動の発生・移動機構の解析
藤田 崇(大阪工大工)
- (6) 大地震データを緊急に収集するための基礎調査
安藤雅孝(京大防災研)

4. 国際防災の10年開始記念講演 3題

- (1) 国際防災の10年開始について(仮題)
土岐憲三(京大防災研)
- (2) 波浪災害と防止(仮題)
発表者未定
- (3) 風災害と防止(仮題)
発表者未定

連絡先: 〒860 熊本市黒髪2-39-1

熊本大学工学部土木環境工学科内

第27回自然災害科学総合シンポジウム実行委員会
中島重旗 ☎ 096-344-2111 内線 3546 又は 3531

FAX. 096-344-5063